

工事タイムス

昭和七年七月

〔東京市廳舎〕 多年問題となつてゐる東京市廳舎建設が愈々具體化して來た、同建設委員會は21日午前10時から市廳舎内に開會、市の理事者から提出中の建設豫算を可決したので愈來る7月2日頃開會の市會に上程する事となつた。市會の可決を得れば28,000圓の懸賞金で一般から建設設計を公募するはずである。敷地は現憲兵隊跡に決定してゐるが目下大藏省及び宮内省に交渉中である豫算總額9,960,000圓で内7年度2170,000圓、8年度2,975,000圓、9年度2,850,000圓 10年度1,965,000圓の各支出である。

○因美線全通 21日鐵道省告示を

以て7月1日より因美線智頭、美作河井間の鐵道運輸を開始する旨告示した、新停車場は土師、那岐の兩驛で延長16キロ6分であるがこれにより因美線は全通し陰陽連絡は更に線を加ふることになつた。

〔郊外鐵道〕 東京濱谷より吉祥寺に至る延長8杆餘の東京郊外鐵道では工費10萬圓

戸田組の請負で去る2日愈々第1工區に起工した。右工區は省線濱谷驛より東京帝大農學科裏駒場に通る隧道である。

〔山内神社〕 土佐の名藩主山内近く起工 容堂公を祀る別格官幣社、高知市柳原神社新築工事は工費22萬圓で此程起工、明年末までに四國では唯一の刷格官幣社が出来上ると。

○三縣に土木部 内務省では各府縣行政事務の繁榮に應じ行政機關の劃一性を打破することに決定、

此度土木工事の膨大な靜岡、新潟、福岡の三縣に土木部を設置することとなつた。從來は内務部内に土木課として存在してゐたものである。

因に部長には下の如く從來の土木課長が昇格任命ときまつた。

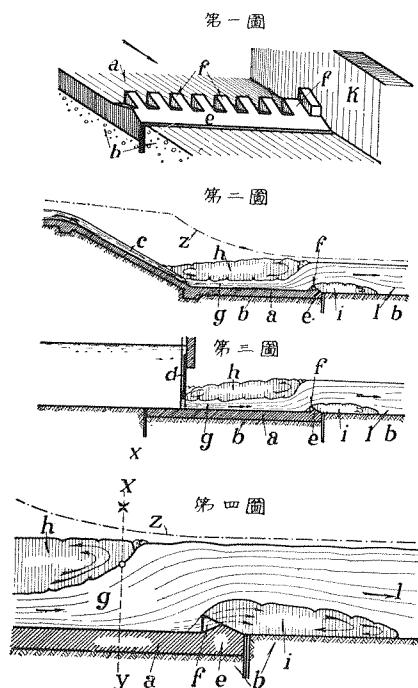
木村 勝七氏 静岡縣土木課長は同縣土木長に、

坂本 一平氏 福岡縣土木課長は同縣土木部部長に、

川上國三郎氏 新潟縣土木課長は同縣土木部長に。

〔メツシナに〕 メツシナ海峡の大海底隧道 海底をくぐつて伊太利本土とシシリー島をつなぐ海底隧道工事計畫が進められてゐる。設計は既に有名な二人の技師によつて完了されたとのことで總工費は4億5千萬圓と云はれる。

33頁よりつづく



證明する所なり齒型(f)間溝を通して流るゝ水にして静かに上昇する流れは、主流が河床に急激なる下降をなす爲の地面の影響を防止するものなり。

堤防又は第一圖の河床の側壁(k)に沿ひ特に有害なる掘浚を一層有效地に除かんため、閘(e)の兩端に於ける齒型(f)は他の齒型(f)より幅及高さを擴大するものとす。

第四圖に於けるX-Y線は急流(g)より流路(i)に移る通路を示す、第二圖及第四圖(z)は勢力線(エネルギー線)なり。

特許請求の範囲

本文に詳記し且つ添附の圖に付き説明したる如き瀧、堰又は他の工作物の河床を保護する水叩と、該水叩の最下流端にて且該水叩上の射水流の上に生ずる表面渦流より、流水の分るゝ出口に配置したる低き閘と、該閘は更に上流に向つて急傾斜面を有する一列の齒型を具備せる構造との組合せよりなる水路底の洗去防止装置。